

令和8年度 地域おこし協力隊 新規隊員2名が着任しました



分野 日本語アドバイザー

市内の教育支援センターや地域の国際交流団体と連携し、外国にルーツのある人への支援や日本語教室の開催を行っていきます。国際交流イベントなどにも積極的に参加し、地域住民との交流を行います。

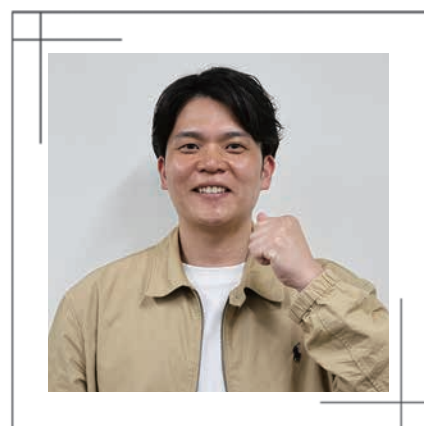
あおき ひとみ
青木 瞳さん

応募したきっかけ

石岡市は、生まれの地であり、祖父や大叔母が暮らしていることから関わりがあり、かけがえない居場所です。市に関わる全ての皆さんにとって、石岡市が心安らぐところであるように感じてもらいたい、後世にも継承していききたいと考えたことが応募のきっかけです。

今後の抱負

日本語教室の運営について、教室に参加される皆さんの交流を通して、寄り添った学習環境を整えていきたいです。また、日本の慣習が理解できずに生活に困っている人に対して、イベントの協力や情報提供などを丁寧に行っていきたいと考えています。さらに、支援の輪を広げるために、日本語ボランティア養成講座の開催や調整にも携わっていききたいです。



もり だいき
森 大輝さん

応募したきっかけ

狩猟を学びながら移住・地域活性化に関わることができるという点が、自分の理想としていた生き方と一致し、挑戦の機会と考え、応募しました。また、猟友会八郷支部の支部長からは熱心に活動状況について説明をいただき、この方から学びたいと思うようになりました。石岡市を訪れたときに感じた「人の魅力」「空気感」「地域の受け入れ姿勢」は唯一無二のものでした。

今後の抱負

最初の1年間は学びの期間として、地域の人々との関係構築を最優先とし、地域の暮らしや文化、困りごとを理解しながら、狩猟に関する知識、技術を学びます。

2年目からは実行フェーズに移行します。猟友会の一員として有害鳥獣駆除に取り組みながら、SNSなどを発信し、魅力を伝えます。

分野 有害鳥獣対策

石岡市鳥獣被害対策実施隊メンバーの平均年齢は73歳で高齢化が顕著であり、今後の組織としての持続性担保が困難な状況にあります。

有害鳥獣を捕獲する担い手となるよう技術の習得を行い、農政課、猟友会と連携し、有害鳥獣対策を進めていきます。

地域おこし協力隊のメンバーは全員で6人になりました！



協力隊の活動記録をご覧になりたい人は…

「石岡市地域おこし協力隊 | 日々の活動と石岡の魅力発信」のInstagramへ

